

治験管理センターだより

第20号

島根大学医学部附属病院治験管理センター発行（2008.8）



契約件数に対する治験の実施率について

全国42大学病院の平成18年度治験終了分の実施率の比較において、本院は76.5%で**第7位**という結果でした。

また、本院の平成16年度から19年度の治験実施率は**毎年70%以上**を保っています(図1参照)。

これからも実施率100%を目標として、症例の速やかなエントリーに向けてご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

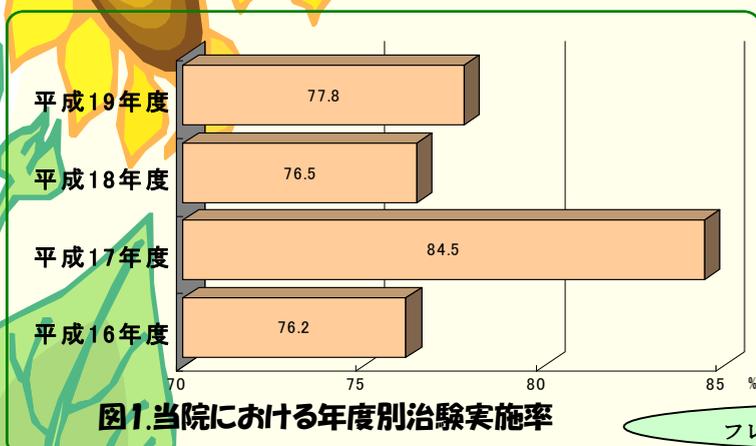


図1.当院における年度別治験実施率

新スタッフ紹介



7月からCRCとして治験業務に参加することになりました検査部の野津吉友と申します。

島根大学病院で検査業務を始めてから約30年、治験は私にとって全く新しい分野で戸惑いもありますがチーム医療の一員として頑張りますので皆様ご指導の程宜しくお願いします。

治験事務局からのお知らせ

治験管理センターHP・診療科情報、治験の受け入れ・実施が可能な疾患領域・分野のデータをこの程更新しました。

アンケート調査にご協力いただきました各診療科の皆様ありがとうございました。

治験の豆知識

【治験中の併用禁止薬について】

治験のプロトコルでは、併用禁止薬・併用制限薬および併用療法の制限が設定されています。これは、**治験薬や治療法の有効性評価に与える影響を最小限にし、薬物相互作用・疾患に対する危険性を避けるなどの安全性を確保するために設定されています**。しかし、治験期間中被験者にはさまざまな有害事象が発生し、併用禁止薬・併用制限薬に規定されている薬剤を使用しなければならない場面も少なくありません。併用禁止薬の使用は、治験薬や治療法の評価に影響を与えるため治験の中止に至りますが、安全の確保のための使用であればそれもやむを得ません。しかし、**医療者の失念等で併用禁止薬をしたために治験中止に至った場合はこれまでの新しい治療を期待していた被験者の協力を無にするだけでなく、医療機関側への被験者の不信感を煽ることにもなりかねないため、併用薬に関する規定には細心の注意が必要**です。

参考文献・CRCスキルアップマニュアル